

菜生海岸災害調査検討委員会について

1. 菜生海岸災害調査検討委員会の目的

平成16年10月20日、台風23号の激しい高波により、高知県室戸市の^{なばえ}菜生海岸において海岸堤防が約30mにわたって倒壊し、流入した海水等により背後の家屋13戸が被災し、3名の方が亡くなった。

今回の人的被害、家屋被災の直接の原因は、堤防の倒壊により、高波が直接背後に流入したものであるが、この堤防の被災形態は、これまでの海岸災害ではほとんど見られないものであった。

このため、以下の点について検討することを目的として、国土交通省と高知県では標記委員会を発足させる。

- ① 堤防倒壊のメカニズムの究明
- ② 復旧対策の検討
- ③ 別途行なう全国の海岸の必要な箇所についての総点検結果を踏まえた、今後のハード及びソフト両面での減災対策の検討

2. 委員会の構成

委員長 佐藤慎司（東京大学教授：海岸工学）
委員 宮田速雄（高知新聞編集局次長、兼報道センター長）
大年邦雄（高知大学教授：防災工学）
中野 晋（徳島大学助教授：沿岸域工学）
中田慎介（高知工科大学教授：建築耐震工学、地震防災工学）
福濱方哉（国土交通省 国土技術政策総合研究所 海岸研究室長）
平石哲也（独立行政法人 港湾空港技術研究所 波浪研究室長）
杉本悟史（気象庁気候・海洋気象部海洋気象課海洋気象情報室調査官）
事務局 高知県、国土交通省

（敬称略、順不同）